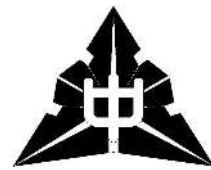


HP版

塩北

甲州市立塩山北中学校 学校だより
 =令和5年度=
 第3号
 発行者：校長 依田 久幸
 R5. 10. 1



地域と共にある学校の姿 2年生 職場体験学習実施～南園芸にて～

夏休み中の7月24日、25日の2日間、大藤地区の「南園芸」様の作業場において、2年生が職場体験学習をさせていただきました。これは毎年恒例となっているもので、キャリア教育の一環としての意味と、学校と地域が一体となって子どもを育てるという活動の意味があります。本校は地域との結びつきが強く、地域にとっても支えられている学校です。2年生は大変熱心に取り組んでいました。「本当によく働く生徒たちです」とお褒めの言葉もいただきました。南園芸様におかれましては、お忙しい中にも関わらず、生徒を受け入れていただき、本当にありがとうございました。



塩北の名をとどろかせました！

～大健闘、吹奏楽部 西関東大会で銀賞を受賞～

9月2日（土）に吹奏楽コンクールの西関東大会が所沢市で行われました。これは7月15日に行われた県予選で、見事に県代表となって出場となったものです。県予選では、わずか10名ながらA部門（もっとも人数が多い部門で、少人数の学校が参加することは稀とのことです）にエントリーし、大人数の学校をしのぐ演奏をしたことで、大いに話題となりました。西関東大会では、惜しくも銀賞で全国大会出場とまではいきませんでした。この人数でやり遂げたこと、また質の高い演奏を繰り広げたことで、大変な反響があったとのことです。地道な練習を一生懸命積み上げた成果だと思います。また、保護者の皆様を始め、多くの方々がサポートしてくださいました。感謝申し上げます。



Painted Pieces～僕たちの挑戦～

～第52回蒼天祭 大成功に終わる～

9月9日（土）に第52回の蒼天祭が行われました。生徒たちはこの日を迎えるまで、本当によく頑張ってきました。年々全校生徒の人数が少なくなる中、生徒会本部の皆さんを中心に、「この人数でどうやったら最高の蒼天祭が創れるのか」と必死で考えていました。多く不安を抱え、葛藤しながらの取組だったと思います。本当に忙しかったと思います。しかし、朝早くから夕方遅くまで、くたくたになるまで取り組んでいました。それが100%以上発揮された当日の躍動ぶりでした。

全員の意気込みがあふれた開祭式で幕を開けた蒼天祭。文化の部では、装飾・看板・展示の紹介、合唱部の発表、弁論発表、美術部の発表、吹奏楽部の演奏が行われました。どれも質が高く、普段あまり見られない活動の様子を知ることができ、思わず時間を忘れるほどでした。それに引き続いて、合唱発表でした。1, 2年の合唱は4月からの成長ぶりを感じさせてくれ、3年生の合唱は「さすが最上級生」と、うならせるものでした。最後の全校合唱「ほらね、」は、一体感とオーラを感じる素晴らしいもので、脈々と受け継がれる伝統と誇りを感じさせてくれました。この歌を皆で歌うことの意義を感じているのだと思います。教科の展示も一人一人の個性が表れた作品ばかりでした。

午後の体育の部では、躍動感あふれる競技や演技を見せてくれました。りりしい姿の行進、記録を更新しようと懸命に跳んだ長縄跳び（担任の先生も頑張ってくれました）、楽しく競った学年種目や障害物競走、伝統ともなっている男子のエッサッサと女子のマスゲームでは、少ない人数でやりきりました。放送部門も大いに盛り上げてくれました。そして昨年引き続き披露した、全員のマスゲームでは、楽しそうに演技する姿で会場中を魅了し、「塩北って素晴らしい」と思ってもらえたと確信しました。

閉祭式でアカペラの校歌を聴いたとき、思わず涙ぐんでしまいました。さっと音を取り、凜として歌い上げる姿。他の学校ではちょっとまねができないと思いました。伝統と誇り、愛校心、郷土愛、そして日常の学習活動の成果が集約されていました。成功を祝福するような花火も本当に圧巻でしたね。

皆さんの感想発表での言葉の中にもありましたが、この経験を糧に、今後さらに成長して、塩山北中を進化発展させていきましょう。全員に拍手を贈ります。

